

PRESS RELEASE

ATR、日本語ウェブサイトの立上げを発表

初の現地語ウェブサイトを開設

大手リージョナル航空機メーカーである ATR は、本日、日本語ウェブサイト(atracraft.jp)の開設を発表しました。世界各国で地域航空の重要性が増していく中、ATR は日本を重要市場と位置づけており、今後日本におけるビジネスの一層の拡大を図る一環として、今回、日本語ウェブサイトを立ち上げました。また、本ウェブサイトは ATR のグローバルウェブサイト(www.atracraft.com)に次ぎ、特定の市場向けとしては初めてのウェブサイトとなります。

日本では 2016 年 2 月に天草エアラインで、また 2017 年 4 月に日本エアコミューター(JAC)で ATR 機が就航しています。両社ともに ATR のエコ・プロップジェット機、ATR42-600 を運航しており、地域交通に欠かせない足として、最新技術を駆使した、安全で環境にやさしい快適な空の旅を地元の人々に提供しています。

日本は成熟市場でありながら、さらに需要を見込める市場でもあり、今後もリージョナル航空機が地方航空の大きな役割を担っていくと考えられます。近年の訪日外国人客数の増加に加え、2019 年のラグビーワールドカップや 2020 年の東京オリンピックおよびパラリンピックの開催もあり、東京、京都などの主要観光都市以外への旅行客の増加が見込まれています。これを受け、新規路線開設に対する強い需要が生まれるなど、今後市場の拡大が期待されています。

現在運航中のリージョナル航空機の多くが機齢 10 年を超えてきていることから、これら機体の刷新による需要増加も見込まれています。ATR は今後、座席数 70 席クラスのエコ・プロップジェットを含め、リージョナル航空機 100 機ほどの市場ポテンシャルを日本に見出しています。

ATR の広報部長であるパルミラ・ロトは以下のように述べています。「この度日本語のウェブサイトを開設できたことを大変嬉しく思っています。今回のウェブサイト開設は日本における ATR のコミュニケーション戦略を展開する上で非常に重要なステップとなります。日本は ATR にとって重要な市場であり、ウェブサイトの立上げを機に、これまで以上に日本のお客様のみならず、オペレーターやメディア、そして ATR を支援して下さるファンの皆様などへ、より効果的なアプローチができるようになりました。」

ATR の日本語のウェブサイトは以下のリンクからご覧いただけます。

atracraft.jp

ATR について

ATR は 1981 年に設立された、座席数 90 以下のリージョナル航空機マーケットにおける大手航空機メーカーです。設立以来 1,500 機以上を納入しています。ATR 機は世界約 100 カ国、200 以上の航空会社に採用され、2,800 万回以上の飛行実績を有しています。ATR はエアバス・グループとレオナルドという欧州航空業界大手 2 社が共同パートナーシップを結んだ事業体で、フランスのトゥールーズに本拠地を構えています。ATR は ISO14001 を取得済みです。詳しい情報は atracraft.jp をご覧ください。

PRESS RELEASE

本件に関する報道関係お問合せ

ATR 広報代理

アシュトン・コンサルティング・リミテッド

電話: 03-5425-7220

メール: ATR@ashton.jp

担当: 福井、山野